



2025年2月25日

各位

会社名 杏林製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 荻原 豊
コード番号 (コード番号 4569 東証プライム)
問合せ先 経営企画部 部長 谷藤 功典
電 話 03-6374-9702

慢性咳嗽治療用アプリの開発について

当社は、Hyfe Inc.（本社；米国 Wilmington、CEO：Tamsin Chislett、以下 Hyfe 社）と慢性咳嗽治療用アプリに関する「開発・商業化契約」を締結し、現在日本国内においてその開発を進めていることをお知らせします。

当社が Hyfe 社とともに開発している慢性咳嗽治療用アプリは、患者に行動変容を促し慢性咳嗽を軽減する非薬理的治療法である BCST (Behavioral Cough Suppression Therapy) に基づいたものであり、Hyfe 社の AI を活用した咳モニタリング技術を活用しています。今後、当社の呼吸器疾患領域における知見を活用し、日本市場に向けたアプリケーションの開発を進めてまいります。当社は、Hyfe 社との契約に基づき、開発の進展に応じたマイルストーン、また上市後には正味売上高に応じた一定率のロイヤリティを Hyfe 社に支払います。

当社は、長期ビジョン「Vision110」のもと、医療ニーズに応える価値の高い新薬の創出を目指しています。本アプリの開発を通して、慢性咳嗽における新たな治療選択肢を提供し、医療の発展に貢献してまいります。

なお、本件の 2025 年 3 月期の業績予想に与える影響は軽微です。

以上

【参考資料】

Hyfe 社について

Hyfe 社は、AI を活用した咳モニタリング技術のグローバルリーダーです。特許取得済みの機械学習ソフトウェアにより、咳の頻度を受動的かつ長期間モニタリングすることで、健康に関する新たな知見を見出します。Hyfe 社は、製薬会社やアカデミアが実施する臨床試験、患者ケアの最適化、慢性咳嗽を含めた呼吸器疾患の DTx を推進するための咳モニタリングソリューションを提供しています。Hyfe 社の技術は 50 以上の研究に使用されており、グローバルな製薬企業やアカデミアと長期的なパートナーシップを締結しています。

BCST (Behavioral Cough Suppression Therapy) について

BCST は、患者に行動変容を促し慢性咳嗽を軽減する非薬理的治療法であり、治療を受けた患者の 88% で臨床症状が改善したという報告があります^{*1}。さらに、BCST は、難治性や原因不明の慢性咳嗽を持つ人々に対しても、通常的生活指導と比較して咳の回数を 41% 減少させることが報告されています^{*2}。しかし、BCST を提供する言語聴覚士は米国では 200 人未満であり、日本ではごく少数です。本慢性咳嗽治療用アプリは、BCST と AI を活用した咳モニタリング技術を組み合わせ、患者さん自身のスマートフォンを通して個別化された情報を提供することを目指します。本治療用アプリの開発を進めることで新たな治療選択肢の提供を目指し、慢性咳嗽で苦しむ患者さんへ貢献していきます。

^{*1} Vertigan A, et al., An update on speech pathology management of chronic refractory cough. *J Allergy Clin Immunol Pract.* **2019**;7(6):1756-1761.

^{*2} Chamberlain Mitchell SA, et al., Physiotherapy, and speech and language therapy intervention for patients with refractory chronic cough: a multicentre randomised control trial. *Thorax.* **2017**;72(2):129-136.